

環境保全措置：ビオトープの整備（周辺樹林）



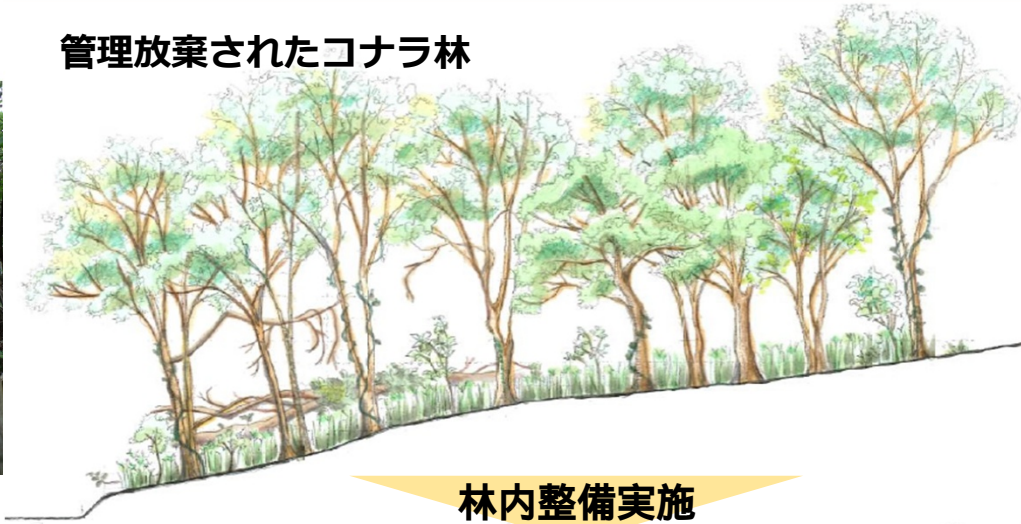
現状：アズマネザサが繁茂

下草刈り等の実施



林内の日照条件の改善
(早春植物や林床の植物の生育環境の改善)

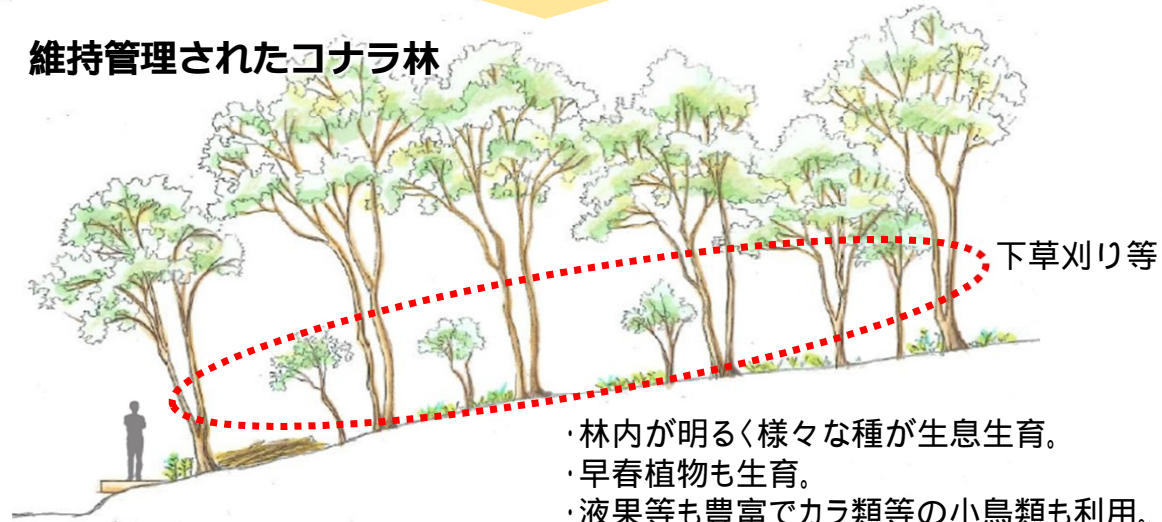
管理放棄されたコナラ林



- ・特定の種が繁茂し林内がうす暗い状態。
- ・耐陰性の高い特定の種が生育。
- ・動植物の種数が減少。

林内整備実施

維持管理されたコナラ林



下草刈り等

- ・林内が明るく様々な種が生息生育。
- ・早春植物も生育。
- ・液果等も豊富でカラ類等の小鳥類も利用。

エコアップの実施

- ・動物の生息環境創出
- ・生物観察機会の創出

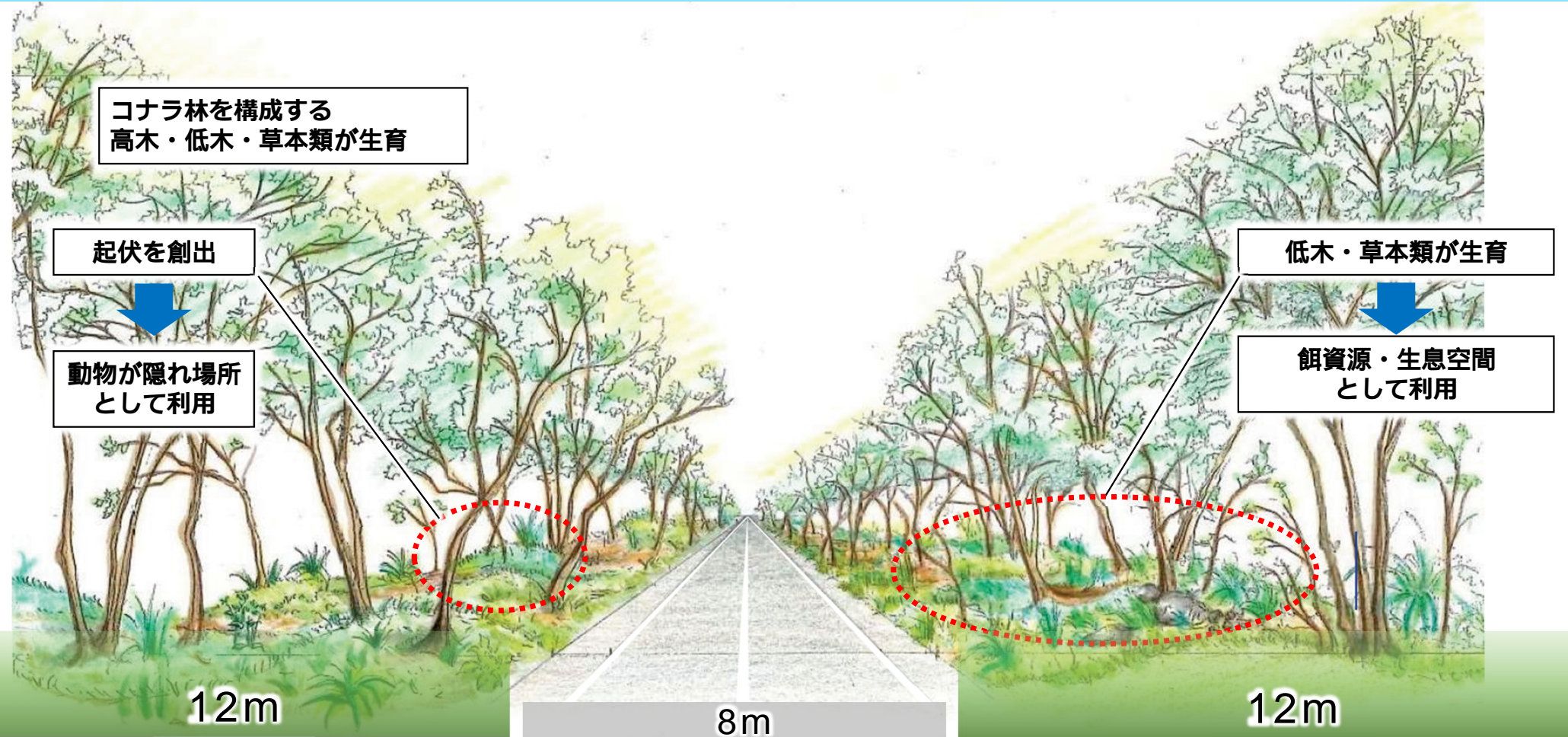


エコスタック例
(小動物のすみか)



解説板の設置例 (生物観察)

区画道路沿いの緑地 概要



緑地帯と道路断面 (高木成長後のイメージ図)

5. 事後調査計画の概要

事後調査計画とスケジュール

○方針

- 【環境配慮が適切に行われ環境影響が予測内に収まっていることを確認する項目】：
大気質(粉じん)、騒音・低周波音、河川の水質、地下水の水位、景観、人と自然の触れ合いの活動の場
- 【環境保全措置の効果を確認し必要に応じて追加の措置を検討する項目】：
動物、植物、生態系

環境要素・項目	年度	工事中						供用後										
		R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034	R17 2035	R18 2036	R19 2037	R20 2038	R21 2039	R22 2040	R23 2041
大気質(粉じん)																		
騒音・低周波音																		
河川の水質																		
地下水の水位																		
動物、植物																		
生態系	上位性(猛禽類)																	
	コナラ林(典型性)	動物、植物																
	水辺(典型性)	動物、植物																
景観																		
人と自然の触れ合いの活動の場	活動の場の利用環境等																	
	ビオトープの活用状況等																	
工事工程	伐採	—	—															
	土工		—	—	—	—												
	道路				—	—												

植栽後の緑地の状況、
動物・植物の生息生育状況も確認

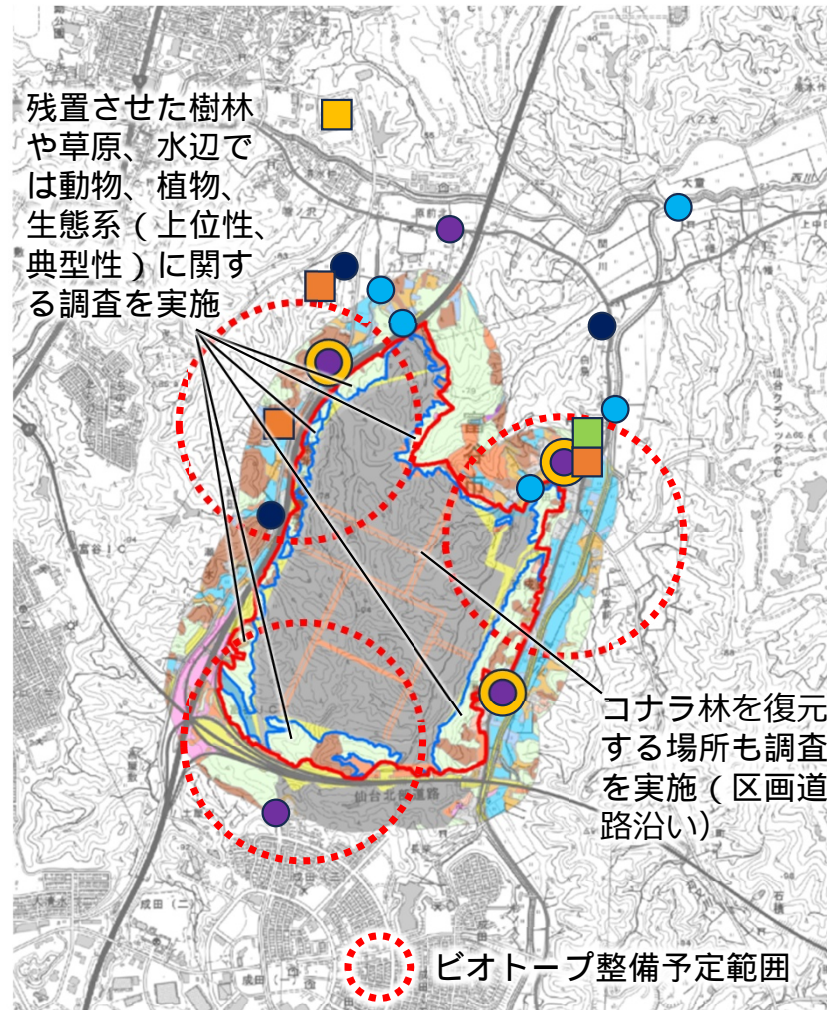
ビオトープ整備後の、
動物・植物の
生息生育状況も確認

事後調査 実施場所

○調査地点

－ 各調査項目の調査を以下の地点数で実施。

調査項目	地点数等
大気質(粉じん)	3地点
騒音・低周波音	5地点
河川の水質	5地点
地下水の水位	3地点
動物	移植モニタリング(7地点)、残存する水辺(5地点、対象事業実施区域周辺2河川計3.5km程度)
植物	キンセイラン残存個体(1地点)、移植モニタリング(7地点)
生態系(希少猛禽類)	代替巣周辺400m範囲
生態系(コナラ林)	残置樹林(4地点)、緑化場所(8地点)
生態系(水辺)	既設・新設ビオトープ4地点
景観	眺望景観(3地点)、囲繞景観(3地点)
人と自然の触れ合いの活動の場	利用動線への影響(1地点)、ビオトープ利用状況(4地点)



- 大気質(粉じん)
 - 騒音・低周波音
 - 河川の水質
 - 地下水の水位
 - 景観(眺望)
 - 景観(囲繞)
 - 人と自然の触れ合いの活動の場
- 眺望景観地点は図面外(東西)2地点設定
- 植生図凡例(供用後)
- 1 コナラ群落
 - 2 ヤナギ低木群落
 - 3 竹林
 - 4 スギ人工林
 - 5 ヨシクラス
 - 6 クズ群落
 - 7 伐採跡地低木群落
 - 8 造成跡地雑草群落
 - 9 水田放棄地雑草群落
 - 10 水田雑草群落
 - 11 畑地放棄地雑草群落
 - 12 畑地雑草群落
 - 13 人工草地
 - 14 緑の多い住宅地
 - 15 造成裸地
 - 16 道路
 - 17 開放水域

動物、植物、生態系の調査地点は重要な種や生息地保護の観点から非表示